

弥陀石仏

ミダセキブツ



指定日：昭和55年(1978)3月15日 種別：彫刻

かつては極楽寺墓地南端に建っていた石仏。高さ49.5cm、幅52.6cm、厚さ約12cmの花崗岩製の石板に、蓮華座上の定印の阿弥陀坐像、俗形坐像（左が法体装束の男性像、右が垂髪的女性像）2体を刻む。本来は塔婆状の石造品の等身部であったと考えられる。類似する事例から、父母が地藏菩薩に導かれて弥陀の浄土に往生することを願う孝心から製作されたものと考えられる。